

# 放課後等デイサービス らぽおと

## 自己評価結果による改善目標

(スタッフ4名回答)

チェック項目		改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練等スペースとの関係は適切であるか	・作業部屋、調理部屋、休憩部屋、共有フロアと規定より広いスペースを確保しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	・基本配置人数(3人)以上配置できるようにしています。 ・利用人数や活動内容に合わせて調節できるようにしています。
	③ 事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	・店舗が2階にありエレベーター等がない為、バリアフリーではありません。フロア内は段差もなく過ごしやすいです。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	・PDCAサイクルでは取り組んでいませんが、ミーティング等で話し合い必要に応じて改善策を考えています。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	・今回はじめての実施となる為、この結果を今後の業務改善に活かしていきます。
	⑥ この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・法人である『在友会』のホームページに公開させて頂く予定です。
	⑦ 第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	・現在は実施できていません。今後、実施できるよう検討していきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	・不定期ですが外部の研修会へ参加しています。また、事業所内においてマネージャー(管理者)による研修や報告研修を行っています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	・日々の活動の様子をミーティングで振り返り、本人の様子を家族様に伝える中で様子や希望を聞かせて頂き、個別新計画書に反映しています。また、相談員が作成する障害児支援計画書も参考にしています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・様々なツールは使用していますが、標準化されたものはありません。今後、標準化できるよう検討していきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	・リーダーを中心にスタッフ全員で考え話し合っています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	・毎月のミーティングで振り返りを行い、新しい事にも挑戦できるよう話し合いを行っています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	・平日は短時間でも楽しく出来る事、休日は余暇や外出をメインにした事、長期休暇はプールや外出、昼食作り等を取り入れ、利用時間やメンバーに合わせて内容を考えられています。
	⑭ 子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	・目的別で活動内容を考え、個別を優先する日と集団を意識する日と両方できるように内容を考えられています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・毎朝朝礼を行いその日の活動内容、担当、準備物等を話し合っています。
	⑯ 支援終了後には職員間で必ず打合せをしその日行われた支援の振り返りを行い気づいた点等を共有しているか	・送迎終了後、良かった事、悪かった事等話し合う時間があり、ケースとして記録にも残しています。また、毎月のミーティングで振り返りも行っています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証・改善につなげているか	・活動中の様子や情緒面等を記録に残し、モニタリングやミーティングの時には内容を確認して次に活かせるようにしています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い放課後等デイサービス計画の見直しの必要性の判断しているか	・6ヶ月に1回の予定でモニタリングを行うようにしており、状況や成長に合わせて内容を変更しています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	・活動時間、利用メンバーに合わせて様々な活動を組み合わせています。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	・児童発達管理責任者が参加するようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	・基本的には家族様を通して確認を行っています。状況に応じて学校と連携を取ることもあります。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・現在、ケアが必要なメンバーはいない状態です。体制的にも受け入れは難しいです。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・基本的には家族様から聞き取りを行っています。必要に応じて事業所から話を聞くこともあります。
	㉔	学校を卒業し放課後等デイサービス事業から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・支援を行ってきた内容、本人の様子等を書面にし、家族様の了承があればお渡ししています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	・必要に応じて研修には参加していますが、定期的な連携は行っていません。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	・地域の公園等へ散歩に出かけていますが、交流の機会は設けられていません。今後、検討してみます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	・現在は参加していません。今後参加を検討していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・送迎時や連絡帳を通してやり取りを行うようにしています。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	・保護者向けには特に行っていませんが、個々の相談には応じ話をする機会を設けています。
	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・契約時に書類を用いて説明しています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	・保護者様から相談があれば対応し、内容によってはスタッフと相談をしてから返事をお伝えさせてもらうこともあります。
	㉒	父母の会の活動を支援したり保護者会等を開催する等により保護者会同士の連携を支援しているか	・2年に1度保護者会を開催しています。保護者同士の連携支援はできていませんので今後できることを検討していきます。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・内容に応じてマネージャー（責任者）、法人統括責任者が対応するよう体制を作っています。
	㉔	定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・年3～4回「らぽおと通信」を発行し、活動の様子を写真でみてわかるようにしています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	・定期的に話を行い意識できるようにしています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・イラストや写真、スケジュール等を用いて伝えるようにしています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	・事業所では実施できていませんが、法人の夏祭り等には来て頂いています。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員や保護者に周知しているか	マニュアルは用意していますが、家族様には案内出来ていないので今後検討していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	スタッフ間の理解はありますが、実施はできていません。今後検討していきます。
	④⑩	虐待を防止するため職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	職場内研修で行い、状況に応じて振り返りを行うようにしています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しているか	口頭で話を行うことはありましたが、計画書等に記載はしていません。きちんと方法を決め、記載するようにしていきます。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	面談時に聞き取りを行い、スタッフ間で周知を行っていますが、指示書等には基づいていません。今後は指示書の有無も確認していきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	現在は作成していません。作成するよう検討していきます。